

※画面はイメージです

セルフ式景品交換システム SPE-200

DigiCo Selfy



キャラクターは6種類 オリジナルキャラにも対応

point 1 景品交換業務のセルフ化で省人化を実現
景品の買い取りから現金の支払いまでの処理を本装置で一括処理

point 2 スムーズな交換業務
現金は、払出トレーに貯留し一括で払い出し

point 3 交換所のスペースに合わせた設置が可能
計数装置と払出装置は独立した筐体

point 4 景品交換時のトラブルを抑制
識別不良の景品は、交換所内に取り込まずそのまま返却

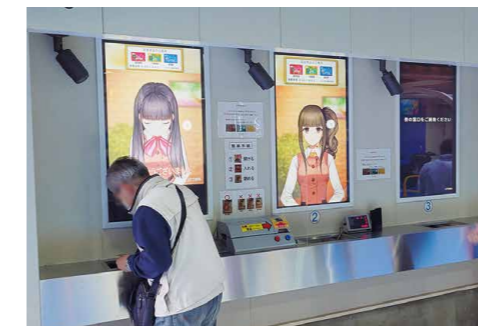
TOWA 株式会社 東和商事 ☎03-3942-1085
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-18-10 6F FAX 03-3942-1150
東和の景品 検索 <https://towashoji-group.co.jp>

関東地区販売店：E・CRAFT 株式会社 電話：080-9586-7496
西日本総販売店：株式会社 東和販売 電話：086-238-3011
販売店募集中

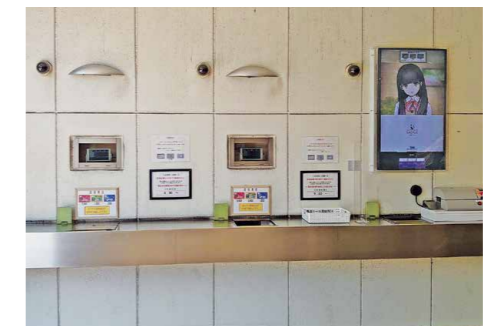
セルフ式景品交換システム DigiCo Selfy (SPE-200SV)



左端の窓口はデジタルサイネージの「DigiCo」を設置し、残り2つの窓口を「DigiCo Selfy」にした導入事例。



客側の操作は非常に簡単で、計数ユニットに景品を入れて、決定ボタンを押すだけ。



既存の景品交換所の窓口「DigiCo Selfy」を設置することも可能だ。

景品交換所の買取業務を自動化した(株)東和商事のセルフ式景品交換システム『DigiCo Selfy』の導入が全国で進んでいる。人気の理由は省力化と業務の効率化、さらに行き届いたサービスにある。

セルフ式の景品交換が増えるワケ

景品交換所の省力化と業務の効率アップで全国に普及

山陰地方に初導入 使いやすさが向上

全国の都道府県で20%を超える地域に導入されている(株)東和商事のセルフ式景品交換システム「DigiCo Selfy」(デジタルセルフイ)。直近では山陰地方に初導入されるなど着実に設置が増えている。

人気の理由は、買取業務の省力化と効率化に大きく寄与する点だ。例えば複数の買取窓口がある場合、一つを有対応として、残りを「DigiCo Selfy」に切り替えれば、省力化が進み、人件費の削減につながる。自動化のため計算ミスなどの人的ミスが解消され、業務全体の効率化が図れる。

また、同システムでは現場の声にこたえる形で、ソフト・ハードの両面でバージョンアップを行い、使いやすさや操作性を向上させている点も強みだ。ショップ側のソフト面では日計情報をワンタッチで確認できるように改修したほか、インボイスに対応した帳簿データの出力操作もより簡単になった。ハード面では、客側に設置する計数ユニットの耐久性のアップや、ショップ側でも紙幣払出ユニットの引き出し幅を拡張することでメンテナンス業務を容易にした。こうした細かな補修にすぐに対応する点も導入が増えている要因だ。

近年中には新バージョンの製品化を目指しており、あわせて注目してもらいたい。



ソフトのバージョンアップにより、業務を中断することなく、ワンタッチで日計情報(その日の取引状況)の確認も可能に。